

総務企画常任委員会研修報告

当委員会は、昨年10月27日～28日に神奈川県内で視察研修を行いました。その内容の中から、全国に先駆け防災ラジオシステムを導入した茅ヶ崎市での研修について報告いたします。

防災ラジオシステムとは、ラジオが自動的に防災情報を受信すること。またスイッチがオフであっても緊急情報が流れると赤いボタンが点滅し、それを押すとその情報が何度でも聞くことができ、停電の時はLEDライトが点灯するとのことでした。また茅ヶ崎市はその他の防災情報などの伝達手段として、防災行政用無線、エリアメール、テレビデータ放送等を用いているとのことでした。

烏山地区に防災無線がない現状を踏まえ、また、今後も増加する高齢者世帯への防災情報伝達の手法として、防災ラジオシステムの導入を図ることは、本市においても検討に値すると感じた有為な視察研修でした。

総務企画常任委員会委員長 久保居 光一郎



茅ヶ崎市職員による防災ラジオの説明